富山高等専門学校			開講年	年度 令和05年度 (2023年度) 授業科目 環日本海			環日本海諸国語 V A(ロシア語)					
科目基	礎情報											
科目番号		0082					科目区分		一般/選			
授業形態	•	授業			単位の種別と単位	位数	履修単位:	1				
開設学科	1		ジネス学科		対象学年		2					
開設期	₩+++	前期					週時間数					
教科書/教授		山本 有	ли! 2-1 : ≪									
到達目	-		ит									
ロシア語平易な口	 基礎文法を]シア語日常	定着させる 会話を聞い 来事をロシ	。 て理解し, ロシ ア語で紹介する。	ア語で ことた	で文字化するこ ができる。	ことがて	ごきる 。					
ルーブ	リック											
				理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安		
評価項目	11		ロシア語の 話や作文で 。	ロシア語の基礎文法を理解し、会 話や作文で表現することができる 。			ロシア語の基礎文法を理解し、お およそ会話や作文で表現すること ができる。			ロシア語の基礎文法を理解できて おらず、会話や作文で表現するこ とができない。		
評価項目	12		ロシア語を ができる。	ロシア語を使って平易な日常会話 ができる。			ロシア語を使って平易な日常会話 がおよそできる。			ロシア語を使って平易な日常会話 ができない。		
評価項目3				自分や身の回りの事象をロシア語 で説明することができる。			自分や身の回りの事象を、およそ ロシア語で説明することができる 。		を、およそ とができる	自分や身の回りの事象を、ロシア 語で説明することができない。		
学科の	到達目標	項目との	関係									
ディプロ]マポリシー	- 3					-					
教育方	法等											
概要		ロシア既習事	語文法の基礎固め 項を用いて、自己	カを行り紹介	う。 }か関心事等に	こついて	「ロシア語で紹介	する。				
教員単独に 野前に行っ 授業の進め方・方法 担業外学習 授業外学習			独による講義と派行う準備学習:調 学習・事前:授	注用いて、自己紹介や関心事等についてロシア語で紹介する。 こよる講義と演習 準備学習:講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと。 ・事前:授業内容を予習しておくこと。 ・事後:授業内容を復習すること。								
		(授業	改善策)				マムラ					
注意点		学年のが た (1) (1) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (3)	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない あっては、その。) 3回で欠課1時間 計画は、学生の 試験(中間試験)	よがら 者は、 平価を と 軍 軍 軍	5授業を進める 願い出により を60点とする。 まに応じて変更	るよう努 り追認記。 更するご				試験の結果、単位の修得が認められ		
授業の		学生の 評価が に (備考 1)遅受業 3)定期 修上の区	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない。 あっては、その。) 3回で欠課1時間 計画は、学生の5 計議(中間試験) 分	よがられる 者 本 と す を 要 な が に を を を を を の は に を を の に に を に に に に に に に に に に に に に	5授業を進める 願い出により を60点とする。 まに応じて変更	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある !題を20点として	評価する				
授業の	属性・履	学生の 評価が に (備考 1)遅受業 3)定期 修上の区	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない あっては、その。) 3回で欠課1時間 計画は、学生の 試験(中間試験)	よがられる 者 本 と す を 要 な が に を を を を を の は に を を の に に を に に に に に に に に に に に に に	5授業を進める 願い出により を60点とする。 まに応じて変更	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある	評価する				
授業の ☑ アク:	ティブラー	学生の 評価が に (備考 1)遅受業 3)定期 修上の区	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない。 あっては、その。) 3回で欠課1時間 計画は、学生の5 計議(中間試験) 分	よがられる 者 本 と す を 要 な が に を を を を を の は に を を の に に を に に に に に に に に に に に に に	5授業を進める 願い出により を60点とする。 まに応じて変更	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある !題を20点として	評価する				
授業の ☑ アク:	ティブラー	学生の評価がたる情報を表現します。 (情報を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない あっては、その記 3回で欠課1時間 計画は、学生の 試験(中間試験) 分	よがられる 者 本 と す を 要 な が に を を を を を の は に を を の に に を に に に に に に に に に に に に に	5授業を進める 願い出により を60点とする。 まに応じて変更	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある 題を20点として 図 遠隔授業対応	評価する	వే.	□ 実務経験のある教員による授業		
授業の ☑ アク:	ティブラー	学生のがた者に考刻業別では「個異別業期」を上の区グ	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない。 あっては、その。) 3回で欠課1時間 計画は、学生の 試験(中間試験) 分	は者で と解び 用	5授業を進める 願い出により を60点とする。 まに応じて変更	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある 題を20点として 図 遠隔授業対応	評価する	る。 の到達目標	□ 実務経験のある教員による授業		
授業の ☑ アク:	ティブラー	学生の評価がたる情報を表現します。 (情報を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない あっては、その記 3回で欠課1時間 計画は、学生の 試験(中間試験) 分	ぶ者平 と里及 用	ら授業を進める 願い出により を60点とする。 る まに応じて変更 別末試験)を80	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある 題を20点として 図 遠隔授業対応	評価する	る。 の到達目標	□ 実務経験のある教員による授業		
授業の ☑ アク:	ティブラー	学生のがた者に考刻業別では「個異別業期」を上の区グ	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない。 あっしては、その。) 3回で欠課1時間 計画は、学生の 計画は、中間試験が 分 図 ICT 利原 授業内容 1)ガイダンス	よ者平 と里及 用 「OПО」	5授業を進める 願い出により 全60点とする。 る をに応じて変更 別末試験)を80	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある 題を20点として 図 遠隔授業対応	評価する 過ごと ロシア ロシア	る。 の到達目標 語で自己紹 語で買い物	□ 実務経験のある教員による授業		
授業の ☑ アク:	ティブラー	学生のがたる情報を表現しています。 学生のがたる情報を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない あっては、その 3回で欠課1時間 計画は、学生の 試験(中間試験) 図 ICT 利原 授業内容 1)ガイダンス 2)第1課 AB	よ さ さ さ さ さ で す で に 、 を 里 取 び 其 の の の の の の の の の の の の の	5授業を進める 願い出により 全60点とする。 る をに応じて変更 別末試験)を80	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある 題を20点として 図 遠隔授業対応	評価する 過ごと ロシア ロシア	る。 の到達目標 語で自己紹 語で買い物	□ 実務経験のある教員による授業 票 3介ができる		
授業の ☑ アク:	ティブラー	学生のがた。 (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報) (情報)	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない。 あっしては、その。 3回で欠課1時間 計画は、学生の対 計画は、中間試験 分 図 ICT 利 授業内容 1)ガイダンス 2)第1課 ABTOI	な者で と 里解び 用 TONOPT	5授業を進める 願い出により 全60点とする。 る をに応じて変更 別末試験)を80	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある 題を20点として 図 遠隔授業対応	評価する	る。 の到達目標 語で自己紹 語で買い物 語で仕事や	□ 実務経験のある教員による授業		
授業の ☑ アク:	ティブラー	学生のがに (1) 授工 (1) 投資業期 (修上の区) (1) 週 (1) 週 (2) 週 (2) 3 週 (3) 週	改善策) 理解度を確認した 60点に満たない。 あっして実1時間 3回で欠課1時間 計画は、学生の対 は、中間試験 分 図 ICT 利 授業内容 1)ガイダンス 2)第1課 ABT の 第2課 Pa6oT	stare と里及び 用 ronopt nopt a	5授業を進める 願い出により 全60点とする。 る をに応じて変更 別末試験)を80	るよう努 り追認記 。 更するご 〕点、課	ことがある 題を20点として 図 遠隔授業対応	運ごと ロシア ロシア ・ ロシア・	る。 の到達目標 語で自己紹語で買い物語で仕事や 語で仕事や	□ 実務経験のある教員による授業 電子ができる 別ができる ごができる ごができる できる		
授業の	ティブラー:	学生のがに (情遅刻業期 (修上の) 2) 別で 3) 定区 3) 定区 3) 定区 3) 週 1 週 2 週 3 週 4 週	改善策) 理解度を確認した 60点には、その 3回で欠課1時間 3回で欠課1時間 計画は、中間試験 分 図 ICT 利 「関業内容 1)ガイダンス 2)第1課 ABT の 第2課 Pa6の 第2課 Pa6の	State Care Care Care Care Care Care Care Car	6授業を進める 願い出により を60点とする。 る をに応じて変更 月末試験)を80 ptpet	るよう努り追認記。	ことがある 題を20点として	評価する。 週ごと ロシア ロシア ロシア ・ ロシア ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る。 の到達目標 語で自己紹語で買い物語で仕事や 語で仕事や 語で仕事や	□ 実務経験のある教員による授業 ②介ができる ②ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる		
授業の ☑ アク:	ティブラー:	学評をがにきる数業期 (修工)がに考め業期 (修工)がに考め業期 (修工)が (担当) (担当) (担当) (担当) (担当) (担当) (担当) (担当)	改善策) 理解度を確認した 60点でに満たその 3回で欠課1時間 3回で欠課1時間 計試験 ② ICT 利助 ② ICT 利助 ② 第 ABT	State Care Care Care Care Care Care Care Car	6授業を進める 願い出により を60点とする。 る をに応じて変更 月末試験)を80 prpet pet	るよう努り追認記。 更するこ D点、課	ことがある 題を20点として ② 遠隔授業対応	評価する 過ごとアロシア・ロシア・ロシア 生表生	る。 の到達目標 語で自己 縦 語で仕事や 語で仕事や 語で仕事や 活表ができる	□ 実務経験のある教員による授業 ②介ができる ②ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○動詞(-авать動詞やся動詞)を用る。		
授業の ☑ アク:	ティブラー:	学評さん。 (1) 対	改善策) 理解度を確認した 60点でに満たその 3回で大課1時間 3回で大課1時間 3計談	State Care Care Care Care Care Care Care Car	6授業を進める 願い出により を60点とする。 る をに応じて変更 月末試験)を80 prpet pet	るよう努り追認記。 更するこ D点、課	ことがある 題を20点として ② 遠隔授業対応	評価する。 週ごとアロシア。 ロシアア・ロシア・ロシア・ロシア・ロシア・ロシア・ロシア・ロシア・ロシア・ロシア	る。 の到達目標 語で仕事や 語で仕事や 語で仕事や 表で表現さ 現き現る	□ 実務経験のある教員による授業 紹介ができる 別ができる の職場、給料についての表現ができる の職場、給料についての表現ができる の職場、給料についての表現ができる の職場、給料についての表現ができる の動詞(-авать動詞やся動詞)を用る。		
授業の 図 アク・ 授業計	ティブラー:	学評人 (1) 授定 (1) 投資 (1) 投資 (1) 投資 (1) 投資 (1) 担 (1) 世 (1) 世 (改善策) 理解度を確認した 60点でに対応して 30回では、その 31計試験 図 ICT 利助 授業 内容 1) ガ第1課 ABTOI 第2課 Pa6の 第2課 Pa6の 第2課 Pa6の 第2課 Pa6の 第3課 KTo p 中間試験 1) 試験 加減験 1) 試験 1) 試験 1) 試験 1) 対対 は 対対 は 対対 は 対対 は 対対 が 対対 が 対対 が 対対	Silve と Bronopt	5授業を進める 願い出により を60点とする。る まに応じて変更 別末試験)を80ptpetpetBCTaët, TomyBCTaët, Tomy	るよう努り追認記。 更するこ D点、課	ことがある 題を20点として ② 遠隔授業対応	評価する	る。 の語語語語話現 活現 活現 活現 活現 活現 でする	□ 実務経験のある教員による授業 ②介ができる ②ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○職場、給料についての表現ができる ○動詞(-авать動詞やся動詞)を用る。 ○る動詞(-авать動詞やся動詞)を用る。 ○このものテキストを読んだり、作文		
授業の アクラ	ティブラー:	学評た(1) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (2) (4) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (7) (8) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	改善策) 理解度を確認した 60点でには、その 30回では、中間試験 グ 「ク ICT 利原 「 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	stare と里及び FOR TOROPTION TOROPTIO	5授業を進める願い出によりである。高の点とする。までに応じて変更用末試験)を80ptpetptpetpctaët, томувстаёт, томувстаёт, томувстаёт, тому	るよう努り追認記。 更するこ D点、課	ことがある 題を20点として ② 遠隔授業対応	評価 プラン・ロ・ロ・日い 既 ラを ラ・ファーア 生表 生表 事 フい フ	る。 の 語 語 語 語 活現活現 項 スた ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	□ 実務経験のある教員による授業 ②介ができる ②ができる ②戦場、給料についての表現ができる ②職場、給料についての表現ができる ②職場、給料についての表現ができる ②動詞(-авать動詞やcя動詞)を用る。 ②行う。 ②行う。 ○ついてのテキストを読んだり、作文		
授業の 図 アク・ 授業計	ティブラー:	学評た(1) (1) (1) (2) (2) (3) (2) (4) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (8) (8) (9) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	 改善策) 理解度を確認した 60点でに満たその。 31計試験 図 ICT 利助 授業1年度の 第2課 Pa6の 第2課 Pa6の 第2課 Pa6の 第3課 KTO p 中間試験 中間試験 1)第4課 CTM 	には には には には にも にも にも にも にも にも にも にも にも にも	5授業を進める 願い出により を60点とする。る をに応じて変更 別末試験)を80ptpetptpetвстаёт, тому встаёт, томувстаёт, томувстаёт, томувстаёт, томувни	るよう努り追認記。 ・ 更するこ D点、課	ことがある 題を20点として ② 遠隔授業対応	評価	る。	□ 実務経験のある教員による授業 ②介ができる ②ができる ②戦場、給料についての表現ができる ②職場、給料についての表現ができる ②職場、給料についての表現ができる ②動詞(-авать動詞やcя動詞)を用る。 ②行う。 ②行う。 ○ついてのテキストを読んだり、作文		
授業の 図 アク・ 授業計	ティブラー:	学評た(1) (1) (1) (2) (3) (2) (3) (4) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (8) (8) (8) (9) (1) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	 改善策) 改善策)を確認した 60点でに満たその 30回では、中間試験 3回画は、中間は中間は 対力に 第十二十一十一十一十一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	は されば、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	を授業を進める 願い出により を60点とする。 る をに応じて変更 別末試験)を80 のでである。 のでは、100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	るよう努り追認記。 ・ 更するこ D点、課	ことがある 題を20点として ② 遠隔授業対応	評価	る。	□ 実務経験のある教員による授業 ②介ができる ②ができる ②戦場、給料についての表現ができる ②職場、給料についての表現ができる ②職場、給料についての表現ができる ②動詞(-авать動詞やcя動詞)を用る。 ②行う。 ②行う。 ②ついてのテキストを読んだり、作文		
授業の アクラ	更	学評た(1) (1) (1) (1) (2) (3) (2) (3) (2) (3) (4) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	改善策) 理解度を満たい。 60点で (中間試験) 3回画は、中間試験 (中間試験) 3回画は、中間が表別でで、 (中間はできる) 3目画数 (中間はできる) 3日画数 (中間はできる) 3日画数 (中間はできる) 3日画数 (中間はできる) 3日画数 (中間はできる) 第2は、中間できる。 第2は、中間できる。 第2は、中間できる。 第2は、中間できる。 第2は、中間できる。 第3は、大ての中間には、中間は、中間は、中間は、中間は、中間は、中間は、中間は、中間は、中間は、中間	は されば、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	を授業を進める 願い出により を60点とする。 る をに応じて変更 別末試験)を80 のでである。 のでは、100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	るよう努り追認記。 ・ 更するこ D点、課	ことがある 題を20点として ② 遠隔授業対応		る。	□ 実務経験のある教員による授業 ②介ができる ②ができる ②職場、給料についての表現ができる ②職場、給料についての表現ができる ②職場、給料についての表現ができる ②動詞(-авать動詞やcя動詞)を用る。 ②も動詞(-авать動詞やcя動詞)を用る。 ②行う。 ②ついてのテキストを読んだり、作文 ③こついてのテキストを読んだり、作文 ③こつ・マとしたテキストを読んだり、作文 ③こ・マとしたテキストを読んだり、作文 ③こ・マとしたテキストを読んだり、 ○こ・マとしたテキストを読んだり、 ○こ・マとしたテキストを読んだり、 ○こ・アーマとしたテキストを読んだり、		
授業の 図 アク・ 授業計	更	学評た(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	改善策) 理解度を満たい。 50 回画験 (中間試験) (中間試験) (中間試験) (中間試験) (中間試験) (中間試験) (中間試験) (中間式) (中面式) (由面式) (中面式) (由面式) (由面	は だいは、 では、 では、 でも でも でも でも でも でも でも でも でも でも	を授業を進める 願い出により を60点とする。 る をに応じて変更 別末試験)を80 のでである。 のでは、100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	るよう努り追認記。 ・ 更するこ D点、課	ことがある 題を20点として ② 遠隔授業対応		る。	□ 実務経験のある教員による授業 ②介ができる ②ができる ②歌場、給料についての表現ができる ②職場、給料についての表現ができる ③歌場、給料についての表現ができる ③歌詞(-авать動詞やcя動詞)を用 ③。 ②言のいてのテキストを読んだり、作文 ③こついてのテキストを読んだり、作文 ②テーマとしたテキストを読んだり、 ②デーマとしたテキストを読んだり、		

		16週	試験)	反却と解説			試験を返却して解説をするとともに、夏休みの宿題を 提示する。					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類 分野				学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週		
評価割合												
	試験		発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題等	合	†		
総合評価割	合評価割合 80		0		0	0	0	20	10	100		
基礎的能力	楚的能力 80		0		0	0	0	20		0		
専門的能力	0	0		•	0	0	0	0	0			
分野横断的	分野横断的能力 0		0		0	0	0	0 0				